

## 令和6年度 医師の負担軽減及び処遇改善に関する具体的計画

衛生委員会作成

項目	項目	具体的な取組内容	評価方法	目標達成年次	過去3年の実績		
					3年度	4年度	5年度
業務分担	初診時の予診の実施	看護師、看護補助者又は事務員による問診票の活用により支援を実施	導入	新規	—	—	—
	外来および病棟薬剤業務の推進	病棟専任薬剤師を配置し、処方代行等による処方支援および適切な情報共有等を通じて薬物療法の支援を行う。	病棟薬剤師配置数	達成済み (令和6年度も継続)	6名	5名	5名
			処方代行件数	新規	—	—	—
			VCMTDM件数	新規	—	—	—
			薬剤管理指導料1および2算定件数	新規	—	—	—
		外来専任薬剤師を配置し、がん化学療法への関与、検査薬やデバイスの説明等を通じて薬物療法の支援を行う。	外来薬剤師配置数	新規	—	—	—
			レジメンチェック件数	新規	—	—	—
			患者指導件数	新規	—	—	—
	静脈採血等の実施	外来において看護師又は検査技師が静脈採血を実施	静脈採血のみのカウントは無理	新規	—	—	—

小豆島中央病院

業務分断	検査手順の説明の実施	時間内については外来看護師及び医師事務により実施し、時間外・休日入院は当直看護師により実施	導入	新規	—	—	—
	特定行為研修修了看護師の配置	認定看護師としての専門性を活かし、医師業務の一部について特定行為研修修了看護師とのタスクシェアを進める。	配置看護師数	新規	—	—	—
	NSTが治療方針を踏まえ、食事の形態について提案	摂食・嚥下について多職種が連携し、個別介入により食事形態を主治医に提案	NST介入患者数	達成済み (令和6年度も継続)	15名	100名	23名
	心理的ケアの実施	医師の指示により、臨床心理士による心理カウンセリングを行う。	介入件数/患者数	達成済み (令和6年度も継続)	596件/149名	392件/137名	358件/126名
	入院の説明の実施	入院予定の患者に対し、地域連携室において入院説明を実施	実施患者数	達成済み (令和6年度も継続)	46名	20名	29名
	医療クラークの配置	医療クラークを有効に配置し、医師の負担の軽減を図る。また、新規の医師については、電子カルテの操作のレクチャーを行う。	医療クラーク数	達成済み (令和6年度も継続)	8名	8名	9名
	栄養指導の強化	医師と管理栄養士が連携して患者の病状を把握した上で、患者の食生活やライフスタイルをふまえて、具体的に実行可能な食事療法を患者様と一緒に考えて提案する。	栄養指導件数	達成済み (令和6年度も継続)	214件	180件	360件
	日当直業務の負担軽減	土日を中心に、日当直業務の一部を非常勤医師が担当し、医師の負担を軽減する。 従来医師が作成していた日当直の割振りについて、案を事務部が代行して作成し、医師はチェックと承認のみを行う。また、連続当直とならないように配慮する。また、手術のある医師については、手術予定日についても配慮する。	常勤医師の1か月の平均当直回数	達成済み (令和6年度も継続)	2.6回	1.9回	1.6回
子育て中の医師に対する配慮	院内保育所による保育を実施する。土曜日保育も行い、子育て中の医師のニーズに合わせた保育を行う。	利用人数	達成済み (令和6年度も継続)	1名	1名	1名	

小豆島中央病院

他の医療機関との連携	専門医の雇用	専門的知識を必要とする分野の診療について専門医を非常勤として雇用し、常勤医師の外来診療業務の負担を軽減する。また、診療方針についての指導・助言を受ける。	雇用人数	達成済み (令和6年度も継続)	86名	84名	60名
	地域の医療機関との連携	地域の他の医療機関との連携を強化することで、紹介数(他院→小豆島中央病院)、逆紹介数(小豆島中央病院→他院)の向上を図る。	紹介数/逆紹介数	達成済み (令和6年度も継続)	1,952件/1,657件	1,956件/1,691件	1,928件/1,813件

## 令和6年度 看護師の負担軽減及び処遇改善に関する具体的計画

衛生委員会作成

項目	項目	具体的な取組内容	評価方法	目標達成年次	過去3年の実績			
					3年度	4年度	5年度	
業務分担	看護助手の配置	看護助手がベッドメイキング、物品の運搬・補充、病室の清掃等を担当し、看護業務以外の負担を軽減する。	看護助手数	達成済み (令和6年度も継続)	14名	15名	13名	
	介護福祉士の配置	専門的な知識と技術を有する介護福祉士を配置し、介護業務・介護指導を担当する。	介護福祉士数	達成済み (令和6年度も継続)	21名	21名	22名	
	歯科衛生士の配置	歯科衛生士による歯垢除去や噛み合わせなどの専門的な口腔ケアを行う。	介入患者数	達成済み (令和6年度も継続)	357名	403名	36名	
	看護クラークの配置	看護業務の事務的業務を行う。	看護クラーク数	達成済み (令和6年度も継続)	3名	3名	5名	
	技師の活用		看護必要度における看護記録について、リハビリテーション科職員も記録の一部を代行する。	リハビリテーション科職員数	達成済み (令和6年度も継続)	13名	14名	14名
			看護師が行っていた患者の送迎について、技師で手の空いている者がいれば代行する。	導入	達成済み (令和6年度も継続)	50名	30名	35名
	外来および病棟薬剤業務の推進		病棟専任薬剤師を配置し、持参薬の確認、退院時薬の準備、与薬カードの管理等を通じて薬学的管理の支援を行う。	病棟薬剤師配置数	達成済み (令和6年度も継続)	6名	5名	5名
				退院時薬剤情報管理指導料算定件数	新規	—	—	—
				高カロリー輸液調製件数	新規	—	—	—

小豆島中央病院

業務分担	外来および病棟薬剤業務の推進	外来専任薬剤師を配置し、注射用抗がん剤の調製、調剤薬局との連携等を通じて薬学的管理の支援を行う。	外来薬剤師配置数	新規	—	—	—
			注射用抗がん剤調製件数	新規	—	—	—
			トレーシングレポート対応件数	新規	—	—	—
	安心安全な医療の提供	各部署配置薬の期限・在庫管理および入院患者毎の注射薬払い出しを実施	調剤助手数	新規	4名	4名	4名
看護師の勤務体制等に係る取組	短時間正規雇用の看護職員の活用	子育て又は介護等の理由により短時間勤務での勤務を可能とする。	短時間勤務者数	達成済み (令和6年度も継続)	6名	8名	8名
	多様な勤務形態	多様な勤務形態を導入し、看護職員が勤務しやすい体制を整備。夜勤専従看護師の導入	利用人数	達成済み (令和6年度も継続)	8名	8名	8名
	非常勤職員の雇用	短時間勤務の非常勤看護職員を雇用し、看護職員の負担を軽減する。	新規採用者数	達成済み (令和6年度も継続)	1名	2名	5名

小豆島中央病院

妊娠・子育て中の看護職員に対する配慮	子育て中の夜勤減免制度導入	産後又は育児休暇から復職した看護職員の夜勤を減免する。	減免者数	達成済み (令和6年度も継続)	14名	8名	8名
	院内保育所の設置	院内保育所による保育を実施する。土曜日保育も行い、子育て中の看護職員のニーズに合わせた保育を行う。(平成28年度から開園)	保育所利用看護師数	達成済み (令和6年度も継続)	12名	16名	7名
過重労働への配慮	超過勤務の縮小	柔軟な配置転換を実施することにより、部署間のバランスを図り、1人あたりの月平均超過勤務時間は10時間以内を維持する。	1人あたりの超過勤務時間数	達成済み (令和6年度も継続)	5.1h/月	5.5h/月	6.7h/月
	有給休暇取得の推奨	休日が十分に消化できない職員に対しては、休暇が取得できるように周囲がサポートできる体制を作る。	1人あたりの有給休暇取得日数	達成済み (令和6年度も継続)	10.0日/年	10.5日/年	11.8日/年
	臨床心理士によるカウンセリング	職場・仕事だけでなく子育て・家庭について悩んでいる職員のため、希望者には臨床心理士によるカウンセリングを実施	カウンセリング件数/利用者数	達成済み (令和6年度も継続)	153件/30名	59件/18名	48件/12名
県事業の活用	助産師出向支援導入事業の活用	助産師の偏在是正を主たる目的とした県事業を活用し、他病院から助産師の出向を受入れる。	出向受入れ人数	達成済み (令和6年度も継続)		3名	11名